

江戸川乱歩 軍国主義の進む中、次々と傑作を書いて探偵小説という新分野を確立、後進の育成にも尽力した。

えどがわらんぼ

日清戦争始・1894 = 三重県名張の生れ。父は藤堂藩士の末裔で、当時鈴鹿郡役所の書記。長男で祖母に可愛がられて育つ。

八幡製鉄始・1897 = 3歳：父の転職で名古屋に転居。

日比谷公園・1903 = 9歳：この頃、巖谷小波のお伽草紙を読み耽る。また、母に新聞連載の「秘中の秘」を読んで貰う。幻灯にも夢中。

日露戦争終・1905 = 11歳：市立の高等小学校に入学。友人と雑誌を作る。

韓国反日暴動1907 = 13歳：県立の中学校に入学。濱香沢「幽霊塔」に感激し、以後、漱石、露伴、鏡花を読み始める。

アヲヲ 創刊・1908 = 14歳：父が平井商店を創業。乱歩は活字を購入して雑誌作成。

韓国併合・1910 = 16歳：友人と満州渡航を企てるが、発覚して停学処分。

明治天皇没・1912 = 18歳：中学を卒業。親友と少年向けの出版事業を計画。平井商店が破産。一家で朝鮮へ。高校進学をあきらめ、早稲田大学予科に入って、印刷屋でアルバイトしながら通学。

大正政変・1913 = 19歳：早稲田大学政治経済学科に進学。母方の祖母と暮らす。『帝国少年新聞』を企画し、小説の掲載を試みる。

第一次大戦始1914 = 20歳：代議士の機関紙編集にたずさわる。『回覧雑誌(白虹)』を作る。ポー、ドイルなど探偵小説に関心を抱く。

21ヶ条要求・1915 = 21歳：父が帰国し、一家で生活。アルバイトしながら、『欧米のミステリー』を乱読。暗号を研究。探偵小説覚え書き手製本「奇譚」を作る。「火鑪銃」を執筆。

民本主義・1916 = 22歳：大学を論文2番、成績4番で卒業。アメリカ行きを断念して、大阪の貿易会社に就職。

ロシア革命・1917 = 23歳：会社の寮から抜け出し放浪。谷崎や佐藤春夫の作品にも親しむ。以後、各職場を転々とする。

本格政党内閣1918 = 24歳：鳥羽の造船所の時、村山隆を知る。

ペルシヤ条約・1919 = 25歳：上京して色々な事業に手を打すが、いずれも失敗。隆と結婚。以後も職場と住居を次々と変える。

大暴落・1920 = 27歳：

原敬首相暗殺1921 = 28歳：

関東大震災・1923 = 29歳：*江戸川乱歩のペンネームで「二銭銅貨」を発表、小酒井不木の推薦でデビュー。「一枚の切符」、

護憲三派圧勝1924 = 30歳：*専業作家を決意。

治安維持法・1925 = 31歳：父が死去。「D坂の殺人事件」「心理試験」「屋根裏の散歩者」「人間椅子」。横溝正史らと探偵趣味の会を発足させ、探偵趣味を創刊。NHKで放送される。(大衆文芸)創刊に参加。

円本時代始・1926 = 32歳：長編連載「湖畔亭事件」「闇に轟く」「一寸法師」を開始。

金融恐慌・1927 = 33歳：『パノラマ島奇譚』。『自らの作風を嫌悪し、筆を断って放浪。』江戸川乱歩集が刊行され大ヒット。同人と組合を結成。

共産党事件・1928 = 34歳：『心機一転の「陰獣」の連載が人気を博す。』

世界恐慌・1929 = 35歳：小酒井不木が死去、その全集刊行に尽力。内外の同性愛文献の収集に着手。*『押絵と旅する男』などで、探偵小説という新分野を確立。

海軍軍縮条約1930 = 36歳：エスペラント語訳「一枚の切符」。『蜘蛛男』刊行。流行作家として人気が高まる。

満州事変・1931 = 37歳：『江戸川乱歩全集』刊行開始。エスペラント語訳「黄金仮面」などのスリラー長編は、強烈なサスペンスにあふれ、一般読者から熱狂的歓迎を受け、探偵趣味を普及させた。

五一五事件・1932 = 38歳：休筆し各地を旅行。「轟く触手」「陰獣」が上演される。

国際連盟脱退1933 = 39歳：『悪霊』『妖虫』。精神分析研究会に参加。

帝人疑獄事件1934 = 40歳：『石榴』『黒蜥蜴』

芥川直木賞始1935 = 41歳：『乱歩傑作選集』刊行開始。

二二六事件・1936 = 42歳：評論集「鬼の言葉」、『怪人二十面相』。

日中戦争始・1937 = 43歳：

第二次大戦始1939 = 45歳：*『鏡地獄』の一部に反戦的という理由で削除命令。隠棲を決意。

日米開戦・1941 = 47歳：『旧作絶版となり、無収入。』『貼雑年譜』の作成開始。

敗戦・1945 = 51歳：疎開。終戦。別名で科学小説などを書く。

新憲法公布・1946 = 52歳：『戦前版が次々復刻される。探偵作家の親睦、研究を目的とする土曜会を提唱して主催し、戦後の探偵文壇の体制をととのえ、』

新憲法施行・1947 = 53歳：*それを探偵作家クラブに発展させ、初代会長に選ばれた。作品の映画化も進む。

極東裁判判決・1948 = 54歳：

三大事件・1949 = 55歳：『青銅の魔人』

朝鮮戦争始・1950 = 56歳：『断崖』

独立回復・1951 = 57歳：

創作よりも海外作家の紹介や研究評論に力を注ぎ、

メーデー事件・1952 = 58歳：『評論集「幻影城」』により第5回探偵作家クラブ賞を受賞。

TV放送始・1953 = 59歳：NHKラジオ「二十の扉」に出演。

自衛隊発足・1954 = 60歳：『ラジオ連続ドラマ「怪人二十面相」』少年探偵団放送される。「探偵小説四十年」「江戸川乱歩全集」刊行。還暦祝賀会の席上、基金を提供して江戸川乱歩賞の制定を発表、新人作家の登竜門の役割を果たす。

55年体制始・1955 = 61歳：『化人幻戯』『影男』『十字路』

なべ底不況・1957 = 63歳：探偵雑誌『宝石』が経営難に陥った際、陣頭にたって編集、経営に参画した。

安保闘争・1960 = 64歳：

TVイタイ病始・1961 = 67歳：『江戸川乱歩全集』刊行。紫綬褒章。

宇宙中継始1963 = 69歳：*探偵作家クラブを改組して社団法人日本推理作家協会が設立され、初代理事長となったが、

大学紛争始・1965 = 71歳：『脳内出血で、没した。』